

# テレビや新聞で話題になっている 「PFOS及びPFOA」の水質検査について

PFOS及びPFOAとは、有機フッ素化合物(PFAS)の一種です。

PFOS(ピーフォス)やPFOA(ピーフォア)は昔、消火剤や防水加工(雨をはじく服など)、撥水剤(汚れがつきにくくするコーティング)などに使われていました。しかし、自然界で分解されにくく長期的に残存する性質から、環境汚染の原因になるため、今では、多くの国でPFOSやPFOAの製造や輸入が禁止されています。

## PFOS及びPFOAの有害性

PFOSやPFOAは、人体にどのような影響を与えるのか十分にはわかっていませんが、一部の研究では、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系などとの関連が指摘されています。

## 専用水道の設置者及び小水道事業者等の皆様へ

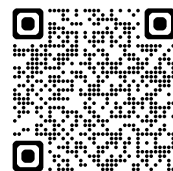
近年、PFOSやPFOAによって地下水や湧水などが汚染され、水道水から高い濃度の「PFOS及びPFOA」が検出される問題が全国的に発生しています。

- 「PFOS及びPFOA」は、水質基準に準じて留意すべき項目である「水質管理目標設定項目」に定められています。**「PFOS及びPFOA」の暫定目標値は、50ng/Lです。**
- 専用水道の設置者及び小水道事業者等の皆さんには「PFOS及びPFOA」が暫定目標値(50ng/L)を超過しないように適切な水質管理に努めることが求められています。

詳しくは、環境省ホームページをご参照ください。

「有機フッ素化合物(PFAS)について」

<https://www.env.go.jp/water/pfas.html>



## 水道水の「PFOS及びPFOA」の濃度を確認しましょう。

- 水質検査をして、水道水に含まれる「PFOS及びPFOA」の濃度を把握しましょう。
- 水質検査の結果、「PFOS及びPFOA」による水道水の汚染がわかった場合、水源の変更や浄水処理方法の検討が必要ですので、下記連絡先までご相談ください。



初めて「PFOS及びPFOA」の水質検査を実施した場合は、検出の有無にかかわらず、伊勢崎市環境政策課まで、ご報告をお願いいたします。

PFOS及びPFOAの水質検査は、水質登録検査機関へ依頼しましょう

まずは、日頃から水質検査を依頼している登録検査機関へ相談してみましょ



水質登録検査機関は

検査機関 上下水道



で検索またはQRコードから